## NOC 技術ノート No. 370

## アクリルゴムの加硫について(3)

先に、架橋点として活性塩素基、エポキン基を有する アクリルゴムに対して代表的な加硫剤のムーニースコー チ試験及びレオメータによる加硫性能について紹介し た.

今回は,前回に引き続き,加硫物の引張試験について 紹介する.

アクリルゴムの加硫反応は,一般的に反応速度が遅いため,一次加硫のみで適正加硫物を得るには不充分であり二次加硫が必要である.特に圧縮永久ひずみや永久伸びの小さい値が要求される場合などは二次加硫が必要である.

表1の配合に基づき、表2に示す各種加硫剤を使用した場合の一次加硫物及び二次加硫物の引張試験結果を表2に示す.

活性塩素基系の加硫剤としてTTCA/ノクセラーBZ, セッケン/硫黄で加硫できる。表2からこの加硫系は一 次加硫のみでも充分高い引張応力を示す事が認められ た. エポキシ系ではバルノック AB, ノクセラー PZ/ノクセラー TTFE, ICA/OB/DU などで加硫できる。これらの加硫系は、二次加硫を行うことによって、引張強さ、引張応力が上昇することが認められる。また、AR-53(高速加硫系)では、ICA/OB/DUが一次加硫のみでも高い引張強さ、引張応力を示す事が認められた。

次回,一次加硫及び二次加硫物の圧縮永久ひずみについて引き続き紹介する.

**実験** 表 1 配合

	活性塩素系	エポキシ系	エポキシ系 (高速加硫系)		
Nipol AR-72	100				
Nipol AR-32		100			
Nipol AR-53			100		
ステアリン酸	1	1	1		
MAF ブラック	60	60	60		
加硫剤	表 2	表 2	表 2		

表 2 引張試験

加硫剤引張試験	AB (1.0)	PZ (1,0) TTFE (1,0)	TTCA (1.0) BZ (1.5)	St-Na (3.0) St-K (0.5) 硫黄 (0.3)		
AR-72〔活性塩素系〕 一次加硫 <sup>1)</sup> (170 ℃, 20分加硫物)						
$T_{\rm B}$ (MPa)	10.7	10.4	12.6	13.0		
$E_{\rm B}$ (%)	440	430	150	170		
$M_{100}$ (MPa)	1.8	1.9	10.2	7.6		
$H_{\rm S}$ (JISA)	53	53	70	64		
二次加硫 <sup>2)</sup> (150°C, 4 時間加硫物)						
$T_{\rm B}$ (MPa)	11.9	12.7	13,1	13.8		
$E_{\mathrm{B}}$ (%)	360	270	140	170		
$M_{100}$ (MPa)	2.5	4.4	10.9	8.3		
$H_{\rm S}$ (JISA)	54	58	71	66		
二次加硫 <sup>2)</sup> (150°C, 8 時間加硫物)						
$T_{\rm B}$ (MPa)	12.2	12.9	13.7	14.9		
$E_{\rm B}$ (%)	320	260	140	170		
$M_{100}$ (MPa)	2.9	4.6	11.2	9.1		
$H_{\mathrm{S}}$ (JISA)	55	58	72	67		
二次加硫 <sup>2)</sup> (150°C, 16時間加硫物)						
$T_{\rm B}$ (MPa)	12.5	12.2	13.8	14.6		
$E_{\mathrm{B}}$ (%)	290	240	140	160		
$M_{100}$ (MPa)	3.2	5.3	11.3	9.2		
$H_{\rm S}$ (JISA)	56	60	72	67		

ICA (0.6) OB (0.8) DU (1.3) は加硫セず

介

紹

TTCA(1.0) BZ(1.5) はやけて成形できず

二次加硫<sup>2)</sup> (150°C, 8 時間加硫物)

二次加硫<sup>2)</sup> (150°C, 16時間加硫物) (MPa)

210

5.2

60

13,3

210

5.2

60

(MPa)

(JISA)

(%)

(%)

(JISA)

 $M_{100}$  (MPa)

 $M_{100}$  (MPa)

 $T_{\rm R}$ 

 $E_{\mathrm{B}}$ 

 $T_{\rm B}$ 

 $E_{\mathrm{B}}$ 

 $H_{\rm S}$ 

AB: Ammonium benzoate, PZ: Zinc dimethyldithiocarbamate, TTFE: Ferric dimethyldithiocarbamate, TTCA: Trithiocyanuric acid, BZ: Zinc di-n-butyldithiocarbamate, ICA: Isocyanuric acid, OB: Octadecyltrimethyl ammonium bromide, DU: Diphenylurea, St-Na: Sodium stearate, St-K: Potassium stearate, 1)一次加硫:170 ℃, 20分プレス加硫,2)二 次加硫:一次加硫物を更に150°C, 4, 8, 16時間熱風加硫. (JIS K 6301に準処)

12.9

220

5.2

60

12.9

200

5.8

61

12.3

260

5.4

60

12.7

250

6.0

61

大内新興化学工業株式会社

12.7

260

3.7

57

13.3

230

4.8

59